

お子さんの予防接種忘れていませんか？

乳児のころには定期接種が必要なワクチンが多く、計画的に接種することができますが、成長とともに数が減り接種期間があくと、予防接種を忘れてしまいがちになります。定期予防接種には、接種対象や接種期間があり、過ぎてしまうと全額自費での接種となります。また、任意接種でも受けられなくなることがありますのでご注意ください。特に忘れやすいのが、第1期から数年後に接種するワクチンです。

母子健康手帳の予防接種の記録をご覧ください。接種を忘れていないか確認しましょう。予防接種で免疫をつけ、病気を予防しましょう！！



■ 接種期間が短い予防接種



麻しん風しん混合（MR）ワクチン（第2期）

対象者：令和5年度年長児 接種期間：令和6年3月31日まで

麻しんとは

発熱・咳・鼻水・目ヤニ・発疹等が主な症状で、肺炎・中耳炎・脳炎などの合併症がおおることもあります。
感染力が高く、免疫を持っていない人が感染すると、ほぼ100%症状が発生します。

風しんとは

発疹・発熱・首の周りや耳の後ろのリンパ節の腫れ等が主な症状です。合併症として血小板減少性紫斑・脳炎等の合併症が起こることもあります。



■ 前回の接種から接種間隔が離れているため忘れてしまいがちな予防接種

二種混合（ジフテリア・破傷風）ワクチン

対象者：11歳以上13歳未満 接種期間：13歳の誕生日の前日まで

ジフテリアとは

発熱、のどの痛みなどで始まり、のどに白い膜が出来たり、首のリンパ節が腫れたりします。菌が出す毒素が心筋炎や神経麻痺を起こし重症化することもある病気です。



破傷風とは

傷口等から菌が身体に入り込むことにより感染します。口が開きづらい、顎が固くなる等の症状から始まり、歩きづらい、排尿・排便障害等を経て最後には全身の筋肉が固くなり、息ができず、死に至ることもある病気です。

日本脳炎ワクチン（第2期）

対象者：9歳以上13歳未満 接種期間：13歳の誕生日の前日まで

日本脳炎とは

ヒトから直接ではなくブタなどの体内で増えたウイルスが蚊によって媒介され感染します。7～10日の潜伏期間の後、高熱、頭痛、嘔吐、意識障害、けいれんなどの症状を示す急性脳炎になることがあります。ヒトからヒトへの感染はありません。

接種履歴が分からない場合はお問い合わせください。